

第 10 章 アナログ情報の設定

10.1 アナログ共通情報

10.1.1 analog isdn number

【機能】

自局電話番号の設定

【入力形式】

analog isdn number <number>

【パラメタ】

<number>

- 自局電話番号
自局電話番号を、0～9の数字と、*、#、-、(、)、\の文字で構成される32桁以内のASCII文字列で指定します。
- delete
自局電話番号を削除します。

【説明】

指定した電話番号は、発信者番号通知機能を使用する場合、アナログ発信時に網に通知されます。また、着信時には網から自局番号が通知されない場合、当番号を syslog にて表示します。
INS ボイスワープ / INS ボイスワープセレクト機能使用時には必ず設定してください。

【未設定時】

自局電話番号は未設定です。

10.1.2 analog dial timer

【機能】

ダイヤル桁間タイマの設定

【入力形式】

analog dial timer <value>

【パラメタ】

<value>

ダイヤル桁間タイマとして、以下のいずれかを指定します。

- 5
ダイヤル桁間タイマとして 5 秒を設定します。
- 8
ダイヤル桁間タイマとして 8 秒を設定します。
- 10
ダイヤル桁間タイマとして 10 秒を設定します。
- 15
ダイヤル桁間タイマとして 15 秒を設定します。
- 20
ダイヤル桁間タイマとして 20 秒を設定します。

【説明】

アナログ発信時において、ダイヤル後、このタイマ満了時に発信します。

【未設定時】

ダイヤル桁間タイマとして、5 秒を設定したものとみなされます。

```
analog dial timer 5
```

10.1.3 analog hooking timer

[機能]

フッキング認識時間の設定

[入力形式]

analog hooking timer <mode>

[パラメタ]

<mode>

フッキング認識時間として、以下のいずれかを指定します。

- normal
フックオン検出後、0.3 秒～1.0 秒以内にフックオフを検出する場合、フッキングと認識します。[標準モード]
- fast
フックオン検出後、0.1 秒～1.0 秒以内にフックオフを検出する場合、フッキングと認識します。[早いモード]
- slow
フックオン検出後、0.5 秒～1.5 秒以内にフックオフを検出する場合、フッキングと認識します。[遅いモード]

[説明]

フッキング認識時間を設定します。フックオン検出後、フッキング時間の最小値未満でフックオンを検出する場合は、フック状態のノイズとみなして無視します。

[未設定時]

フッキング認識時間として、標準モードを設定したものとみなされます。

```
analog hooking timer normal
```

10.1.4 analog function

【機能】

機能ボタン (#ボタン) 使用有無の設定

【入力形式】

analog function # <mode>

【パラメタ】

<mode>

- mode1
機能ボタンとして、#ボタン 1 回押下を使用します。
- mode2
機能ボタンとして、#ボタン 2 回押下を使用します。
- off
機能ボタンを使用しません。

【説明】

「#」ボタンを機能ボタンとして使用するかどうかを設定します。

【未設定時】

機能ボタンとして、#ボタン 1 回押下を使用するものとみなされます。

analog function # mode1

10.1.5 analog ir

[機能]

アナログ着信時リング音の設定

[入力形式]

analog ir out <ring> 外線リング音の設定
analog ir in <ring> 内線リング音の設定
analog ir discrimination <ring> 相手電話番号識別リング音の設定
analog ir line <ring> 契約者回線番号識別リング音の設定
analog ir dialin1 <ring> ポート 1 ダイヤルイン番号識別リング音の設定
analog ir dialin2 <ring> ポート 2 ダイヤルイン番号識別リング音の設定
analog ir in1 <ring> 鳴り分け番号 1 識別リング音の設定
analog ir in2 <ring> 鳴り分け番号 2 識別リング音の設定
analog ir in3 <ring> 鳴り分け番号 3 識別リング音の設定

[パラメタ]

<ring>

- ring1
リング音 1 を使用します。
- ring2
リング音 2 を使用します。
- ring3
リング音 3 を使用します。

[説明]

各種リング音 (外線 / 内線 / 相手電話番号識別 / 契約者番号識別 / ダイヤルイン番号識別 / 鳴り分け番号識別) を設定します。

[未設定時]

アナログ着信時リング音として、それぞれ以下を設定したものとみなされます。

```
analog ir out ring1
analog ir in ring2
analog ir discrimination ring3
analog ir line ring1
analog ir dialin1 ring3
analog ir dialin2 ring3
analog ir in1 ring1
analog ir in2 ring3
analog ir in3 ring3
```

10.1.6 analog numlist add

【機能】

アナログ着信識別情報の設定

【入力形式】

```
analog numlist add <name> <mode> [<number> [<subaddress>]]
```

【パラメタ】

<name>

- 識別定義名
登録する識別着信情報の名称を、0x21,0x23～0x7e の 16 文字以内の ASCII 文字列で指定します。
- default
デフォルト定義を変更する場合に指定します。

<mode>

動作モードとして、以下のいずれかを指定します。

- all
両ポート呼出し
- port1
ポート 1 のみ呼出し
- port2
ポート 2 のみ呼出し
- pri_port1
ポート 1 優先で呼出し
- pri_port2
ポート 2 優先で呼出し
- refuse
着信拒否する

<number>

- 相手電話番号
相手電話番号を、0～9 の数字と、*、#、-、(、)、\ の文字で構成される 32 桁以内の ASCII 文字列で指定します。
識別定義名が"default"の場合には無視されます。

<subaddress>

- 相手サブアドレス
必要に応じて、着信相手を識別するためのサブアドレスを、半角英数字 19 文字以内で指定します。識別定義名が"default"の場合には無視されます。

【説明】

着信識別情報を設定します。

【未設定時】

アナログ着信識別情報のデフォルト定義として、両ポート呼出しを設定したものとみなされます。

```
analog numlist add default all
```

10.1.7 analog numlist delete

【機能】

アナログ着信識別情報の削除

【入力形式】

analog numlist delete <name>

【パラメタ】

<name>

削除する着信識別情報の識別定義名を指定します。

- 識別定義名
削除する着信識別情報の識別定義名を指定します。
- all
すべての着信識別情報を削除します。

【説明】

着信識別情報を削除します。

10.1.8 analog priority count

【機能】

識別着信時の優先ポートリング回数設定

【入力形式】

analog priority count <value>

【パラメタ】

<value>

- 優先ポートリング回数

優先ポートとして指定したポートのみ呼び出すリング回数を、1～10 の 10 進数値で指定します。

【説明】

優先ポートとして指定したポートのみ呼び出すリング回数を設定します。指定回数呼び出しても受話器を取らない場合は、両ポートの呼び出しを行います。

優先ポート着信の設定を行っていない場合は無視されます。

【未設定時】

識別着信時の優先ポートリング回数として、5 回を設定したものとみなされます。

```
analog priority count 5
```

10.1.9 analog flex pseudo

【機能】

疑似フレックスホン機能使用有無の設定

【入力形式】

analog flex pseudo <mode>

【パラメタ】

<mode>

- on
疑似フレックスホンを使用します。
- off
疑似フレックスホンを使用しません。

【説明】

疑似フレックスホンを使用するか否かを設定します。

【未設定時】

疑似フレックスホンを使用しないものとみなされます。

```
analog flex pseudo off
```

10.1.10 analog flex 3party

【機能】

フレックスホン三者通話機能使用有無の設定

【入力形式】

analog flex 3party <mode>

【パラメタ】

<mode>

- on
フレックスホン三者通話を使用します。
- off
フレックスホン三者通話を使用しません。

【説明】

フレックスホン三者通話機能を使用するか否かを設定します。

【未設定時】

フレックスホン三者通話機能を使用しないものとみなされます。

```
analog flex 3party off
```

10.1.11 analog flex call trans

【機能】

フレックスホン通信中転送機能使用有無の設定

【入力形式】

analog flex call trans <mode>

【パラメタ】

<mode>

- on
フレックスホン通信中転送を使用します。
- off
フレックスホン通信中転送を使用しません。

【説明】

フレックスホン通信中転送機能を使用するか否かを設定します。

【未設定時】

フレックスホン通信中転送機能を使用しないものとみなされます。

```
analog flex call trans off
```

10.1.12 analog flex call deflection

[機能]

フレックスホン着信転送機能の設定

[入力形式]

analog flex call deflection use <mode> フレックスホン着信転送機能の使用有無の設定
analog flex call deflection line <number> 契約者番号の転送先の設定
analog flex call deflection port1 <number> ポート 1 のダイヤルインの転送先の設定
analog flex call deflection port2 <number> ポート 2 のダイヤルインの転送先の設定
analog flex call deflection in1 <number> 鳴り分け番号 1 の転送先の設定
analog flex call deflection in2 <number> 鳴り分け番号 2 の転送先の設定
analog flex call deflection in3 <number> 鳴り分け番号 3 の転送先の設定
analog flex call deflection mtalkie <talkie> 転送元トーキの使用有無の設定
analog flex call deflection otalkie <talkie> 転送トーキを使用有無の設定

[パラメタ]

<mode>

- on
着信転送を使用します。
- off
着信転送 / 疑似着信転送を使用しません。
- pseudo
疑似着信転送を使用します。

<number>

- 転送先番号
転送先の電話番号を、0～9 の数字と、*、#、-、(、)、\ の文字で構成される 32 桁以内の ASCII 文字列で指定します。
- delete
転送先番号を削除します。

<talkie>

- on
トーキを使用します。
- off
トーキを使用しません。

[説明]

フレックスホン着信転送機能の使用有無、転送先番号、およびトーキの使用有無を設定します。
転送先番号が未設定の場合、着信転送機能を使用するに設定していても転送は行われません。

[未設定時]

フレックスホン着信転送機能を使用しないものとみなされます。

```
analog flex call deflection use off  
analog flex call deflection mtalkie off  
analog flex call deflection otalkie off
```

10.1.13 analog password

[機能]

アナログ設定変更用暗証番号の設定

[入力形式]

analog password <number> [encrypted]

[パラメタ]

<number>

- 暗証番号
外線からの設定変更時に使用する暗証番号を、0～9 までの数字 4 桁で指定します。
- 暗号化された暗証番号
show コマンドで表示される暗号化された暗証番号を encrypted と共に指定します。
show コマンドで表示される文字列をそのまま正確に指定してください。
- delete
暗証番号を削除します。

encrypted

- 暗号化暗証番号指定
<number>に暗号化された認証番号を指定する場合に指定します。

[説明]

リモートの ISDN 機器 (電話機等) から設定変更を行う際の暗証番号を設定します。
本装置のアナログポートに接続された電話機から設定変更を行う場合、暗証番号は不要です。
show コマンドでは、暗号化された暗証番号が encrypted と共に表示されます。
show analog password を実行すると、暗号化していない暗証番号が表示されます。
ここで設定した暗証番号を以下のように使用します。
操作例 1) リモートの ISDN 機器から設定を変更する (暗証番号設定あり)。

- 着信転送機能 ON 設定
(自側ダイヤル番号)*(暗証番号)6001
- 着信転送機能 OFF 設定
(自側ダイヤル番号)*(暗証番号)6002
- 省電力モード 遷移設定
(自側ダイヤル番号)*(暗証番号)8001
- 省電力モード 解除設定
(自側ダイヤル番号)*(暗証番号)8002

操作例 2) 本装置のアナログポートに接続された電話機から設定を変更する (暗証番号設定は無効)。

- 着信転送機能 ON 設定
*0*6001

[未設定時]

設定変更用暗証番号は未設定です。

10.1.14 analog inumber

【機能】

i・ナンバー機能の設定

【入力形式】

```
analog inumber use <mode> i・ナンバー機能の使用有無の設定
analog inumber in1 <port> [<number>] i・ナンバー情報 1 の設定
analog inumber in2 <port> [<number>] i・ナンバー情報 2 の設定
analog inumber in3 <port> [<number>] i・ナンバー情報 3 の設定
```

【パラメタ】

<mode>

- on
i・ナンバーを使用します。
- off
i・ナンバーを使用しません。

<port>

動作モードとして、以下のいずれかを指定します。

- all
両ポート呼出し
- port1
ポート 1 のみ呼出し
- port2
ポート 2 のみ呼出し
- refuse
着信拒否

<number>

- 鳴り分け番号
鳴り分け番号を、0~9の数字と、*、#、-、(、)、\の文字で構成される 32 桁以内の ASCII 文字列で指定します。
鳴り分け番号を消去または省略する場合は、パラメタを省略してください。

【説明】

i・ナンバーを使用するかどうかを設定します。
i・ナンバーを使用する場合、i・ナンバー情報の設定が有効になります。

【未設定時】

i・ナンバー機能を使用しないものとみなされます。

```
analog inumber off
analog inumber in1 port1
analog inumber in2 port2
analog inumber in3 all
```

10.1.15 analog discern use

【機能】

アナログ着信時識別リング音の使用モードの設定

【入力形式】

analog discern use <mode>

【パラメタ】

<mode>

- self
着信電話番号の識別リング音を使用します。
- other
相手電話番号の識別リング音を使用します。

【説明】

アナログ着信時識別リング音の使用モードを設定します。

【未設定時】

相手電話番号の識別リング音を使用するものとみなされます。

```
analog discern use other
```

10.1.16 analog convert

【機能】

アナログダイヤルイン、モデムダイヤルイン時の送出番号の設定

【入力形式】

analog convert use <mode> アナログダイヤルイン、モデムダイヤルイン時の番号送出方法の設定
analog convert line <number> 契約者回線番号で着信時の送出番号の設定
analog convert dialin1 <number> ポート 1 ダイヤルイン番号で着信時の送出番号の設定
analog convert dialin2 <number> ポート 2 ダイヤルイン番号で着信時の送出番号の設定
analog convert in1 <number> 鳴り分け番号 1 で着信時の送出番号の設定
analog convert in2 <number> 鳴り分け番号 2 で着信時の送出番号の設定
analog convert in3 <number> 鳴り分け番号 3 で着信時の送出番号の設定

【パラメタ】

<mode>

- on
 <number>で指定する送出番号を送出します。
- off
 網から通知された番号をそのまま送出します。

<number>

- 送出番号
 送出する番号を、0~9の数字と、*、#、-、(、)、\の文字で構成される 32 桁以内の ASCII 文字列で指定します。
 アナログダイヤルインの場合は、最後の 4 桁だけ有効となります。

【説明】

アナログダイヤルイン、モデムダイヤルイン時に、アナログポートへ送出する着信番号について設定します。網から通知された番号、あるいは<number>に設定した番号を送出します。
analog convert use on と設定した場合に、<number>に指定する送出番号が有効となります。

【未設定時】

アナログダイヤルイン、モデムダイヤルイン時に、網から通知された番号をそのまま送出します。

```
analog convert use off
```

10.1.17 analog homeout use

【機能】

留守状態の設定

【入力形式】

analog homeout use <mode>

【パラメタ】

<mode>

- on
留守状態を設定します（留守）。
- off
留守状態を取り消します（在宅）。

【説明】

留守状態の設定を行います。「留守」を設定した場合、外線からサブアドレス (留守確認用番号) 付き発信することで、無課金で留守状態を確認することができます。留守確認用番号の設定が必要です。

【未設定時】

留守状態は未設定（在宅）です。

```
analog homeout use off
```

10.1.18 analog homeout check

【機能】

留守確認用番号の設定

【入力形式】

analog homeout check <number>

【パラメタ】

<number>

- 留守確認用番号
留守確認に使用する確認番号を、0～9の数字4桁で指定します。
- delete
留守確認用番号を削除します。

【説明】

留守確認に使用する確認番号を設定します。

【未設定時】

留守確認用番号は未設定です。

10.1.19 analog noid accept

[機能]

発信者番号非通知着信の設定

[入力形式]

analog noid accept <mode>

[パラメタ]

<mode>

動作モードとして、以下のいずれかを指定します。

- all
両ポート呼び出し
- port1
ポート 1 のみ呼び出し
- port2
ポート 2 のみ呼び出し
- pri_port1
ポート 1 優先で呼び出し
- pri_port2
ポート 2 優先で呼び出し
- refuse
着信拒否

[説明]

発信番号非通知着信の動作モードを設定します。

[未設定時]

発信番号非通知着信の動作モードとして、両ポート呼出しを設定したものとみなされます。

```
analog noid accept all
```

10.1.20 analog pubtel accept

【機能】

公衆電話着信の設定

【入力形式】

analog pubtel accept <mode>

【パラメタ】

<mode>

動作モードとして、以下のいずれかを指定します。

- all
両ポート呼び出し
- port1
ポート 1 のみ呼び出し
- port2
ポート 2 のみ呼び出し
- pri_port1
ポート 1 優先で呼び出し
- pri_port2
ポート 2 優先で呼び出し
- refuse
着信拒否

【説明】

公衆電話着信の動作モードを設定します。

【未設定時】

公衆電話着信の動作モードとして、両ポート呼び出しを設定したものとみなされます。

```
analog pubtel accept all
```

10.2 アナログポート 情報

10.2.1 tel kind

[機能]

ポート 接続機器種別の設定

[入力形式]

tel <port> kind <kind>

[パラメタ]

<port>

- アナログポート番号
1 または 2 を指定します。

<kind>

- no
接続機器なし
- tel
電話接続
- modem
モデム接続
- fax
FAX 接続
- dsfax
識別無鳴動 FAX 接続:着信時高位レイヤ情報によって 1300Hz 信号送出
- fsfax
強制無鳴動 FAX 接続:着信時 1300Hz 信号送出
- catchfax
キャッチホン可能な FAX : 発信時 FAX の動作となり、着信時電話の動作となります。

[説明]

指定したアナログポートに接続するアナログ機器の種別を設定します。

[未設定時]

ポート 接続機器種別として、電話接続を設定したものとみなされます。

```
tel 1 kind tel
tel 2 kind tel
```

10.2.2 tel global

【機能】

グローバル着信の設定

【入力形式】

tel <port> global <mode>

【パラメタ】

<port>

- アナログポート番号
1または2を指定します。

<mode>

- on
グローバル着信を行います。
- off
グローバル着信を行いません。

【説明】

指定したアナログポートにてグローバル着信するか否かを設定します。

【未設定時】

グローバル着信を行うものとみなされます。

```
tel 1 global on
tel 2 global on
```

10.2.3 tel dialin

[機能]

ダイヤルイン番号の設定

[入力形式]

tel <port> dialin <number>

[パラメタ]**<port>**

- アナログポート番号
1 または 2 を指定します。

<number>

- ダイヤルイン番号
ダイヤルイン番号を、0～9 の数字と、*、#、-、(、)、\ の文字で構成される 32 桁以内の ASCII 文字列で指定します。
- delete
ダイヤルイン番号を削除します。

[説明]

指定したアナログポートのダイヤルイン番号を設定します。

[未設定時]

ダイヤルイン番号は未設定です。

10.2.4 tel subaddress

【機能】

サブアドレスの設定

【入力形式】

tel <port> subaddress <subaddress>

【パラメタ】

<port>

- アナログポート番号
1 または 2 を指定します。

<subaddress>

- サブアドレス
サブアドレスを、半角英数字 19 文字以内で指定します。
- delete
サブアドレスを削除します。

【説明】

指定したアナログポートのサブアドレスを設定します。

【未設定時】

サブアドレスは未設定です。

10.2.5 tel numbersend

【機能】

発信者番号通知機能の使用有無の設定

【入力形式】

tel <port> numbersend <mode>

【パラメタ】

<port>

- アナログポート番号
1 または 2 を指定します。

<mode>

- on
発信者番号の通知を行います。
- off
発信者番号の通知を行いません。
- net
網契約に従います。

【説明】

指定したアナログポートにて発信者番号通知機能を使用するか否かを設定します。

【未設定時】

発信者番号通知は、網契約に従うものとみなされます。

```
tel 1 numbersend net
tel 2 numbersend net
```

10.2.6 tel callmode

【機能】

発着信専用の設定

【入力形式】

tel <port> callmode <callmode>

【パラメタ】

<port>

- アナログポート番号
1または2を指定します。

<callmode>

- in
着信専用とする場合に指定します。
- out
発信専用とする場合に指定します。
- inout
発着信可能とする場合に指定します。

【説明】

指定したアナログポートの発着信動作を設定します。

【未設定時】

アナログポートの発着信動作として、発着信可能を設定したものとみなされます。

```
tel 1 callmode inout
tel 2 callmode inout
```

10.2.7 tel numberdisplay

【機能】

通信前情報通知機能使用有無の設定

【入力形式】

tel <port> numberdisplay <mode>

【パラメタ】

<port>

- アナログポート番号
1 または 2 を指定します。

<mode>

- off
ナンバーディスプレイ機能を使用しません。
- mode1
ナンバーディスプレイモード 1
- mode2
ナンバーディスプレイモード 2
- modem1
モデムダイヤルインモード 1
- modem2
モデムダイヤルインモード 2
- analog
アナログダイヤルインモード
- ndmodem1
モード 1 のナンバーディスプレイとモデムダイヤルイン
- ndmodem2
モード 2 のナンバーディスプレイとモデムダイヤルイン

【説明】

指定したアナログポートにおける情報通知方式を設定します。

【未設定時】

ナンバーディスプレイ機能を使用しないものとみなされます。

```
tel 1 numberdisplay off
tel 2 numberdisplay off
```

10.2.8 tel call waiting

【機能】

キャッチホン機能の設定

【入力形式】

tel <port> call waiting <mode>

【パラメタ】

<port>

- アナログポート番号
1または2を指定します。

<mode>

- on
キャッチホン機能を使用します。
- off
キャッチホン機能を使用しません。
- pseudo
疑似キャッチホン機能を使用します。

【説明】

指定したアナログポートにてキャッチホンを使用するか否かを設定します。

【未設定時】

キャッチホン機能を使用しないものとみなされます。

```
tel 1 call waiting off
tel 2 call waiting off
```

10.2.9 tel volume

【機能】

受話音量の設定

【入力形式】

tel <port> volume <mode>

【パラメタ】**<port>**

- アナログポート番号
1 または 2 を指定します。

<mode>

受話音量として、以下のいずれかを指定します。

- max
大音量
- mid
中音量
- min
小音量

【説明】

指定したアナログポートの受話音量を設定します。

【未設定時】

アナログポートの受話音量として、中音量を設定したものとみなされます。

```
tel 1 volume mid
tel 2 volume mid
```

10.2.10 tel rpuls

【機能】

リバースパルス機能の設定

【入力形式】

tel <port> rpuls <mode>

【パラメタ】

<port>

- アナログポート番号
1または2を指定します。

<mode>

- on
リバースパルス機能を使用します。
- off
リバースパルス機能を使用しません。

【説明】

指定したアナログポートにてリバースパルス信号を送出するか否かを設定します。

【未設定時】

リバースパルス機能を使用しないものとみなされます。

```
tel 1 rplus off
tel 2 rplus off
```

10.2.11 tel denylist add

[機能]

外線発信を抑止する局番または電話番号の設定

[入力形式]

```
tel <port> denylist add <number>
```

[パラメタ]**<port>**

- アナログポート番号
1 または 2 を指定します。

<number>

- 発信抑止電話番号
発信抑止電話番号を、0～9 の数字と、*、#、-、(、)、\ の文字で構成される 32 桁以内の ASCII 文字列で指定します。

[説明]

指定したアナログポートにおける発信抑止電話番号を設定します。

[未設定時]

発信抑止電話番号は未設定です。

10.2.12 tel denylist delete

【機能】

外線発信を抑止する局番または電話番号の削除

【入力形式】

tel <port> denylist delete <number>

【パラメタ】

<port>

- アナログポート番号
1 または 2 を指定します。

<number>

削除する発信抑止電話番号を指定します。

- 発信抑止電話番号
削除する発信抑止電話番号を指定します。
- all
すべての発信抑止電話番号を削除する場合に指定します。

【説明】

指定したアナログポートにおける発信抑止電話番号を削除します。

10.2.13 tel permitlist add

[機能]

外線発信を許可する局番または電話番号の設定

[入力形式]

```
tel <port> permitlist add <number>
```

[パラメタ]**<port>**

- アナログポート番号
1 または 2 を指定します。

<number>

- 発信許可電話番号
発信許可電話番号を、0～9 の数字と、*、#、-、(、)、\ の文字で構成される 32 桁以内の ASCII 文字列で指定します。

[説明]

指定したアナログポートにおける発信許可電話番号を設定します。

[未設定時]

発信許可電話番号は未設定です。

10.2.14 tel permitlist delete

【機能】

外線発信を許可する局番または電話番号の削除

【入力形式】

tel <port> permitlist delete <number>

【パラメタ】

<port>

- アナログポート番号
1 または 2 を指定します。

<number>

削除する発信許可電話番号を指定します。

- 発信許可電話番号
削除する発信許可電話番号を指定します。
- all
すべての発信許可電話番号を削除する場合に指定します。

【説明】

指定したアナログポートにおける発信許可電話番号を削除します。

10.2.15 tel autoswitch

【機能】

フレックスホン自動切替機能使用有無の設定

【入力形式】

```
tel <port> autoswitch <mode>
```

【パラメタ】**<port>**

- アナログポート番号
1または2を指定します。

<mode>

- on
自動切替機能を使用します。
- off
自動切替機能を使用しません。

【説明】

指定したアナログポートにてフレックスホン自動切替機能を使用するか否かを設定します。

【未設定時】

フレックスホン自動切替機能を使用しないものとみなされます。

```
tel 1 autoswitch off  
tel 2 autoswitch off
```

10.2.16 tel catchdisplay

【機能】

キャッチホン・ディスプレイ機能使用有無の設定

【入力形式】

tel <port> catchdisplay <mode>

【パラメタ】

<port>

- アナログポート番号
1または2を指定します。

<mode>

- off
キャッチホン・ディスプレイ機能を使用しません。
- mode1
キャッチホン・ディスプレイ (モード 1) を使用します。
- mode2
キャッチホン・ディスプレイ (モード 2) を使用します。
- mode3
キャッチホン・ディスプレイ (モード 3) を使用します。
- mode4
キャッチホン・ディスプレイ (モード 4) を使用します。

【説明】

指定したアナログポートにてキャッチホンのナンバー・ディスプレイを使用するか否かを設定します。

【未設定時】

キャッチホン・ディスプレイ機能を使用しないものとみなされます。

```
tel 1 catchdisplay off
tel 2 catchdisplay off
```

10.2.17 tel catchtone

【機能】

通話中着信音送出時間の設定

【入力形式】

tel <port> catchtone <value>

【パラメタ】

<port>

- アナログポート番号
1 または 2 を指定します。

<value>

通話中着信音送出時間として、以下のいずれかを指定します。

- 0
無限に送出処理を行います。
- 5
送出時間として 5 秒を指定します。
- 10
送出時間として 10 秒を指定します。
- 15
送出時間として 15 秒を指定します。
- 20
送出時間として 20 秒を指定します。
- 25
送出時間として 25 秒を指定します。
- 30
送出時間として 30 秒を指定します。

【説明】

通話中着信音送出時間を設定します。

【未設定時】

通話中着信音を無限に送出するものとみなされます。

```
tel 1 catchtone 0
tel 2 catchtone 0
```
